

2009.2.1 曇り時々雪 駒ヶ岳 エコツアー



川の金属橋のあと、谷の木橋をわたる



地点① 渡渉断念

地点② 尾根コース分岐



926 木地山 B S 945 尾根に取り付く  
1029 P 519 1106-1118 駒南尾根 1140  
ブナ巨木 1201-1317 P 682 で昼食  
1339-1356 山頂 1430-1448 池 1519 P  
519 1538 谷到着 1548 B S



地点②も渡渉不可の判断で帰りのコースも× 地点③ 焼尾東谷コース

概ね1年振りのエコツアーへの参加、駒は2007.11月の紅葉以来だ。天気予報では昼から曇りとの予想であったが、結果的には、雪がちらちらの一日であった。

当初の計画では焼尾東谷ルートから駒南尾根—ブナ巨木—池—山頂—駒西尾根から尾根コースであったが、焼尾東谷は対岸に進めず、谷沿いは困難の判定、加えて、帰りの尾根コースからの渡渉も困難と判断され、左岸の尾根コースの往復と決定された。

尾根コースに切り替えた直後は地点⑦できつい登りとなった。が、標高500弱くらいから



地点④ P 682



地点⑤ 駒ヶ越

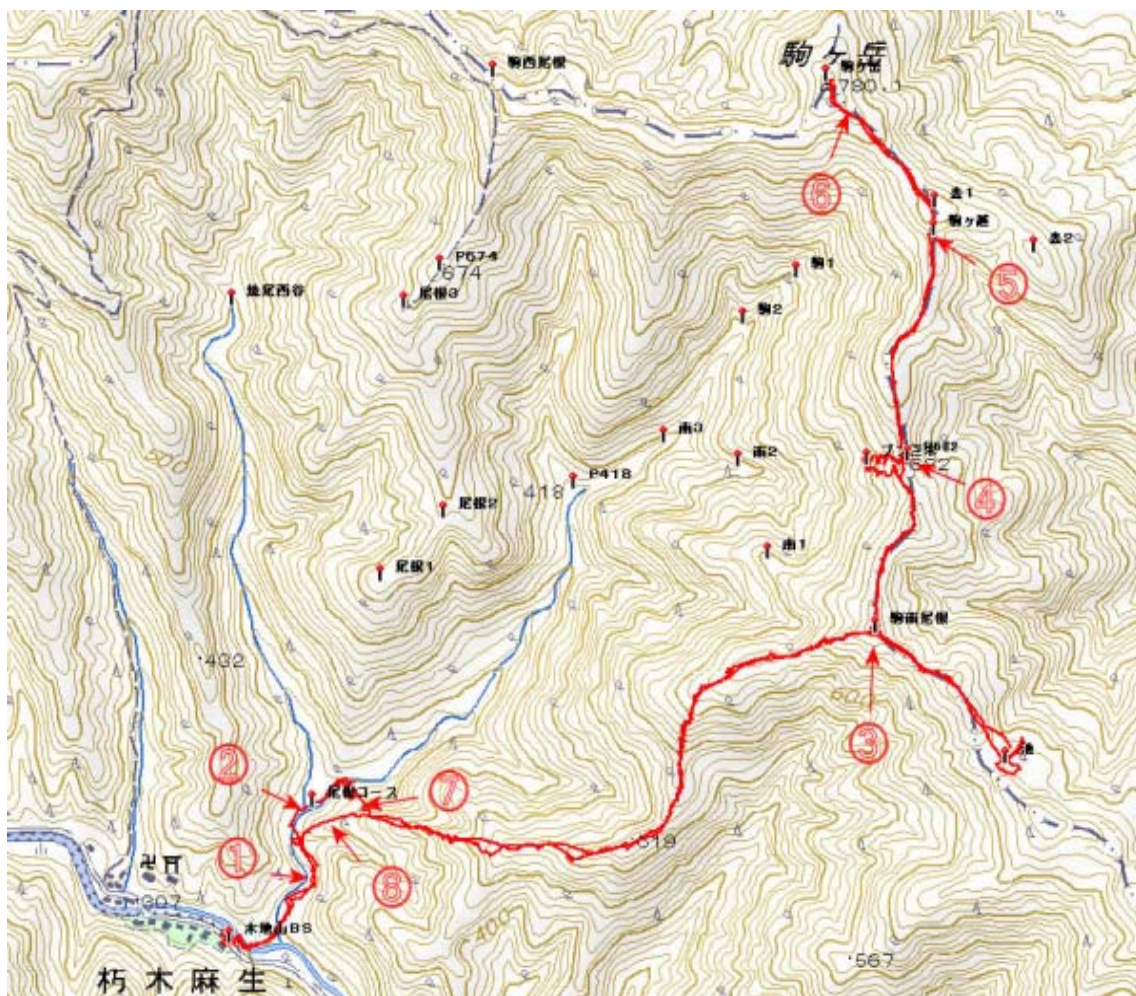


地点⑥ 木地山峠への縦走路



山頂

はゆったりとした登りになり、自然林となる。1.5時間弱で稜線にでる。P 682 からブナの巨木まで急な斜面を下りる。適当に凍っているのでスノーシューでは辛い場所もあった。この巨木は滋賀NO 1 とのことだが、葉がないので、相当迫力が劣る。71104 との対比でわかるのではないか。P 682 で雪のブロックで風を避け、昼食をとった。駒ヶ岳の山頂の景色は天気がいまひとつゆえ、すっきりはしていないが、北東方面の三十三間山、三重嶽、武奈嶽などの大きな山は楽しむことができた。来た道に戻り、池に立ち寄る。池はすっかり、雪で埋まり、上を歩くことも可能であった。駒南尾根からの下りでは大きな百里ヶ岳も見ることができた。尾根の下りの最後は急な⑦を避け、尾根に沿った⑧で谷にでた。今回は昼食時にスノーシューをはずしていたものの、終始スノーシューのお世話になった。雪質は春の雪と同じく締まった雪であり、スノーシューで雪のうえをもぐることなく歩くことができた。積雪量は稜線で 50 c m くらいだったと思います。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

トップページは <http://mametil.googlepages.com/おじさんの山旅2> (2009)

HOMEは <http://www7a.biglobe.ne.jp/~tilmame/>